

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

令和5年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
常願寺川砂防事業への土砂移動観測の効果的な活用法（研究期間：R5年度～R7年度）	信州大学農学部 農学生命科学科 教授 堤大三	A
<研究概要> 常願寺川上流域において、TDR 土砂濃度計や電極板式流砂量計による土砂移動観測を実施した。また、下流域における河床状況や流況調査を実施する。上記観測結果をもとに、SiMHiS による数値シミュレーションによって、流域全体を対象とした土砂動態予測を行うことで、水と異なり中長期に影響が継続する土砂移動への緊急対策、土砂・洪水氾濫の防止、下流域での河川環境保全を行うための情報として活用することを成果とする。		
<事後評価コメント> 本研究では、浮遊砂観測の新たな手法である TDR 法と電極板法にて現地観測し、その結果を活用した数値シミュレーションによる土砂動態予測により土砂・洪水氾濫対策としての既設堰堤の除石等の有効性を示すなど、砂防行政への反映の観点から大いに評価出来る。 今後は、数値シミュレーションにおける降雨条件のバリエーションを増やし、更なる有効性を検討していただきたい。また、TDR 法と電極板法の現地観測の継続により、これら手法の適用可能性について検討を進めていただきたい。		

※評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった

B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった

C：一定の研究成果があった

D：研究成果があったとは言い難い